

GomaNeko Journal

2019 03月号

シッポと言語 其之十 サンキウヲシヤウ

悪について考えるなんて本当に馬鹿馬鹿しいことだ。この世はみんな悪でみんな善だ。つまりはどっちでもいいことなのだ。それより重要なのはシッポこそ言語より優れた意思伝達装置であるというこの証明で、すなわちこれこそ猫族が人間族より優れていることの証明になるわけだから。つまりはつまり、そいつのことなんだ。人間の価値基準でいるる思考するから訳がわからなくなっていただけで、今一度初心に戻り我輩は猫として思考しなくてはならない。もちろんシッポで、迷亭君の言葉などに翻弄されるなんて、我輩はなんと愚図でノロマな亀だったことか。いや猫だ。まあともかく、我輩は柿の木から屋根に飛び降り、ボカボカひなたぼっこをしながらもう一度瞑想にふけることにした。瞑想、瞑想である。決して居眠りしているわけじゃない、ムソムソ。

そこに臨濟寺院の坊主猫でいつもなんだか偉そぼっている三休和尚がやって来て「そもさん」といきなり大声をだした。我輩はあわてて起き上がり「せつば」と返事をしたが、何の事やら、意味はさっぱりわからない。その昔、京都の大徳寺に一休和尚という偉い坊さんがいて、こんな挨拶をしていたんだと三休和尚がさもたいそうに講釈しごとがあつたけれど、クロヘ工君に言わせると本当は少し違いうらしい。まあどちらでもいいことで、三休和尚が挨拶だとい



VA1902007 『三休和尚』

堂野こむすい

いうなら挨拶でないじゃないかと思はれている。三休和尚は「おめし。この世わしない世の中にありながら屋根でのおんびりひなたぼっこは、よほど暇なのじゃのう。」三休和尚は我輩の前にずんと立ち、暇つぶしのいい肴ができたという顔をして嬉しそうに言いだした。「暇じゃないさ。我輩は人間の使用する言語に対するシッポの優位性を一

所懸命考えていたところだよ。」

我輩は思わずムキになり反論したがそれこそ和尚の思いつきである。

「なんと、お主は馬鹿か。そんな事考えんでもわかるじゃろ。シッポが言語より優秀であることも当然の「コトワリ」じゃ。それをいちいち改めて考えるとは、本当に愚者じゃのう。」
 「くろ和尚さんでもそれは非道い。自明であると思われていることでもよくよく突き詰めていくと事実は違つたといつたこともあるわけだ。」

「はおめし、シッポが言語よりも劣つていいると思つたか？」
 「いや、それはそつは思わなけれど。」
 「では良いではないか。そんなこと考えれば馬鹿馬鹿しい。そんな事を考へているからおめしはまったく愚者なのだ。」

「ごま和尚さん。」
 「アモもヘタクしもない。フシがそつだと言えはそつなのじゃ。シッポは言語よりすぐれている。これで良いではないか。」

「はあ」と我輩は気の無い返事をしてから考える。その昔、ドイツの哲学者ハイデガーという人はそれまで普通に使われていた「存在する」という現象について、それはどういふ事かと改めて考へて、あの名著『存在と時間』を記した。普通にある存在という現象を様々な角度でとらえなおし、最後には人間の存在の在り方にまで言及し、多くの思想家に強い影響を及ぼした。

「さう。我輩の目的としていいることはつまりそつという事なんだ。シッポこそ言語に勝つていいると人間に証明してみせて人間が再びシッポを生やす事を促進しなくちゃいけない。だから我々猫族の間で自明の理とされている言語に対するシッポの優位性だつて、今一度、人間にもわかるよう、論理的に説明しなくちゃいけないんだ。我輩はつまりそのために紆余曲折して瞑想中なんだ。」

三休和尚はフンと鼻で笑つて言った。
 「弱いな。紆余曲折など下らんわい。シッポは言語に勝つていいる、それこそ事実、それ以上も以下もない。くちやくちや後付けの理屈など逆にケツタイなものであると人間に笑われるじゃろ。批評家の小林秀雄も言つていたじゃないか。解釈を拒絶して動じないものだけが美しい、とな。おめしも屋根の上でくたぐたどと理屈など考へていないで、堂々とシッポを振つて歩けばそれで良いではないか？」
 そつといつて三休和尚は自信満々強くシッポを振つた。

KOJIKI EMAKI

古事記絵巻

古事記の紙芝居、3月は『ヌナカワヒメの巻』です

未来は古代で 古代は未来



現存する日本で最も古い歴史と神話の書物、古事記。そこには自然や神様たちと共に生きた、太古の人々ののびのびとした暮らしがあらわれます。
 恋をしたり歌ったり、神様も動物も人間も大忙し。島から島へと飛び回り独自の文化をつくつていった古代日本人の生活をどうぞ一緒に楽しんでください。

堂野こむすい

3月のお知らせ

3月24日(第四日曜日)8時~13時
 亀山御坊楽市楽座(姫路)
 小物や自然塩の販売と紙芝居

展示会のお知らせ

堂野夢酔/こむすい 水墨画展
 5月1日(水)~31日(金)
 新舞子ガーデンホテル(御津)

たつの市新宮町段之上374
 ギャラリー夢酔庵
 ☎ 0791-75-0407
 ✉ 666@musui.com



こむすい 検索
<https://komusui.com>